

# 株式会社芝浦電子（証券コード：6957）に対する 公開買付けの開始予定に関するお知らせ（補足資料）



2025年4月10日

**ミネベアミツミ株式会社**

証券コード: 6479

# ミネベアミツミ株式会社について

## 超精密な部品で豊かな生活を支える



自動車



航空機



ロボティクス



医療・介護



産業機器



情報通信



インフラ



住宅機器

## 「相合」精密部品メーカー

※相合（そうごう）：相い合わせることを意味する造語です。当社グループのあらゆるリソースを掛け合わせ、相乗効果により新たな価値を創造します。

# ミネベアミツミの会社概要

ミネベアミツミは、ベアリングなどの機械加工品事業、半導体、小型モーター、電子デバイスなどの電子機器事業、自動車部品・産業機械・住宅機器事業を手掛ける超精密部品メーカー



本社：  
軽井沢工場(長野県)



東京本部：  
東京クロステックガーデン(汐留)

## 設立



1951年

## 従業員数

(2024年12月末時点)



84,829人

## 海外従業員比率

(2024年12月末時点)



86.6%

## 拠点数

(2025年2月末時点)



23カ国 129拠点

## 連結子会社数

ミネベアミツミグループ  
(2024年12月末時点)



145社

## 売上高

(2024年3月期)



1兆4,021億円

## 営業利益

(2024年3月期)



735億円

## 時価総額

(2025年2月末時点)



約1.0兆円

## 海外売上高比率

(2024年3月期)



75.6%

## 海外生産比率

(2024年3月期)



83.7%

# 本件の意義：芝浦電子は5本目の「槍」の中核

## 8本槍



200億円以上の営業利益が現実として見込める事業

「槍」の定義とは？

- 1 大きな市場の中のニッチ市場であること
- 2 その製品は簡単な技術革新ではなくなる
- 3 当社の強みが活かせる製品であること
- 4 「槍」とされる各製品間でシナジー（「相合」）があること

1 ベアリング 営業利益 600億円以上

2 アナログ半導体 営業利益 300億円以上

3 モーター 営業利益 300億円以上

4 アクセス製品 営業利益 200億円以上

5 センサー



6 コネクタ/スイッチ

7 電源

8 無線/通信/ソフトウェア

200億円超の営業利益を実現

# 本件の意義：芝浦電子の温度制御は「4高」に答える

世界が求める「4高（高電圧・高電流・高周波・高スピード）」に答える  
温度制御（=芝浦電子の技術・製品）はこれらのニーズに対して欠かせない製品

## 解決すべき社会的課題

- 少子高齢化
- 人口問題
- 医療問題
- 遠隔地医療の充実
- EV
- 自動運転
- エネルギー問題
- 温暖化
- etc.

## Seeds シーズ



## Needs ニーズ

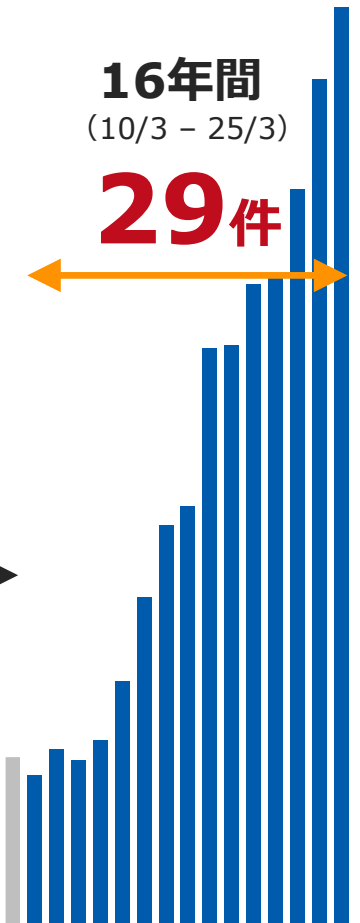


# M&Aの実績

当社はこれまでに60件のM&Aを実施しており、特に直近の16年間で29件のM&Aを手掛けています

**16年間**  
M&A実績

**29**件 うち、統合済み **28**件



統合済み28件の  
**企業価値の累計額** 約 **3,060**億円

---

統合済み28件の  
**売上高合計** (統合時点) 約 **6,550**億円

---

統合済み28件の  
**営業利益合計** (25年3月期見込) 約 **440**億円

創業以来売上高

1952/3 57/3 62/3 67/3 72/3 77/3 82/3 87/3 92/3 97/3 2002/3 07/3 12/3 17/3 22/3

# 本公開買付の概要

項目	概要			
公開買付者	ミネベアミツミ株式会社			
対象者	株式会社芝浦電子			
公開買付期間（予定）	2025年4月23日から2025年5月27日（22営業日） （公開買付けに係る開始予告を公表した2025年4月10日の翌日から起算した場合は30営業日）			
買付価格	1株当たり 4,500円			
プレミアム	基準日：2月5日 （YAGEO予告プレス公表直前）	基準日終値：43.54%	基準日：4月9日 （本件公表日の前営業日）	基準日終値：7.40%
		1ヶ月平均：40.23%		1ヶ月平均：0.99%
		3ヶ月平均：38.59%		3ヶ月平均：9.49%
		6ヶ月平均：37.24%		6ヶ月平均：20.97%
買付予定株数の下限	下限：7,539,900株（所有割合：50.01%）			
買付予定株数の上限	設定せず			
買付代金の総額	67,567,999,500円			
資金手当	自己資金			
応募契約	下記6社（所有株数合計：1,424,486株、所有割合合計：9.45%）の大株主と締結済 埼玉りそな銀行（695,640株、4.61%）、日星電気（341,000株、2.26%）、ジェイアンドエス保険サービス（213,310株、1.41%）、日星オプト（100,000株、0.66%）、日本光電工業（61,226株、0.41%）、りそなリース（13,310株、0.09%）			
スキーム	公開買付け成立後はスクイーズアウト手続きにより、対象者は上場廃止、当社の完全子会社となる予定 スクイーズアウト手続き後に対象者株式の5%をAPに譲渡する予定			
公開買付代理人	大和証券株式会社			

# 芝浦電子の企業概要

- 社名：株式会社 芝浦電子
- 創業：1953年3月3日
- 本社：埼玉県さいたま市中央区上落合
- 事業内容：サーミスタ素子、並びにサーミスタ素子を応用した温度センサ、湿度センサ、湿度計、温度制御器、風速計等の製造販売
- 株式上場：東京証券取引所 スタンダード市場



## 経営成績

売上高  
**324**億円

営業利益  
**51**億円

売上高営業利益率  
**15.8%**

ROE  
**11.4%**

(2024年3月期)

## 人的資本

社員数  
**4,347**人

国内社員数  
**1,173**人

海外社員数  
**3,174**人

女性社員数  
**3,524**人

(2024年3月末時点)

## 事業基盤

世界シェア No1\*  
**13.5%**

取引先数  
約**1,000**社

国内拠点数  
**8**拠点

海外拠点数  
**7**拠点

(2024年3月末現在)  
※世界シェアは2024年度芝浦電子調べ



# 芝浦電子の強み

## 垂直統合による生産体制

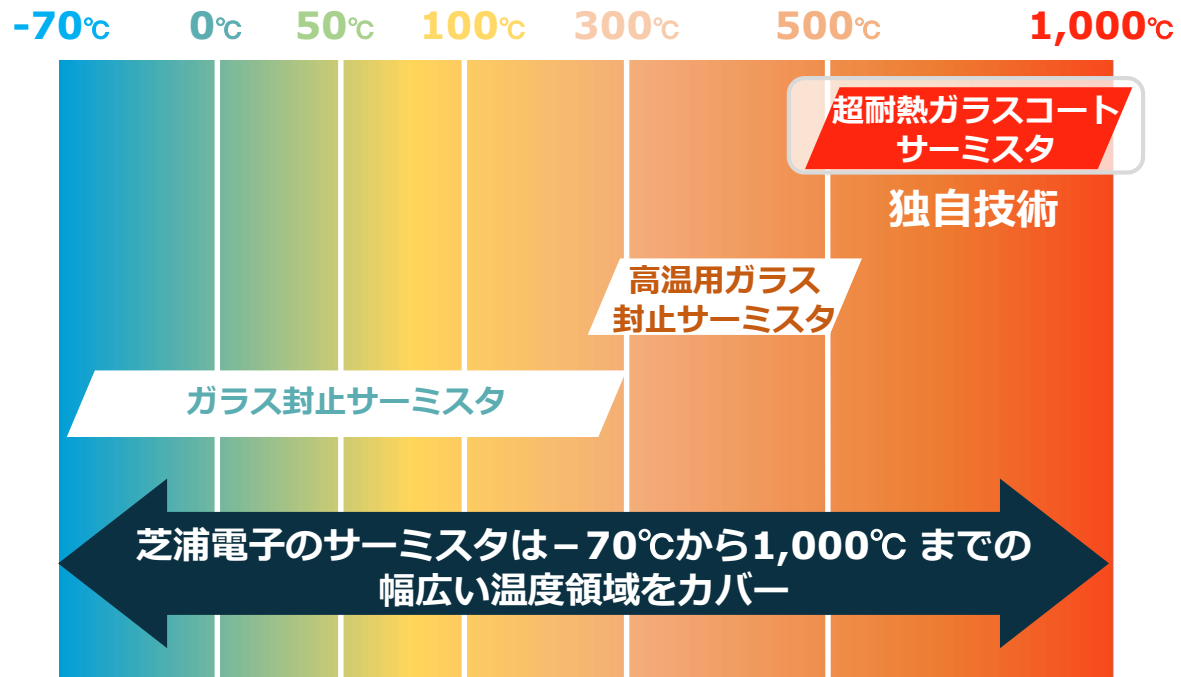


高品質の実現・世界一の供給能力・高い提案力

顧客との信頼関係

## 技術力

広範囲な温度域に対応した製品を供給可能  
高温用の高付加価値品への技術力・対応力が強み



# 本件の意義・シナジー

## オーガニック成長×M&Aで成長

### ミネベアミツミの経営方針

コア技術の強化

ニッチ分野で  
多角化経営

相合して  
シナジー創出

パワーエレクトロニクス製品における  
温度管理の重要性を認識

高度な技術力や事業基盤の国外流出防止

### 芝浦電子との経営統合による新たな可能性

1 技術革新と高付加価値製品の開発

2 当社の販路を活用したグローバル展開

3 オペレーションの効率化

当社の目指す相合（シナジー）実現を確信

# シナジー【1/3】技術革新と高付加価値製品の開発

## 1 サーマスタの一般的な将来性とトレンド

- サーマスタは今後「温度制御」がより求められるカーボンニュートラル、自動車の電動化、AIサーバー、IoT化でその需要の拡大が期待されている。
- 技術トレンド的には、よりきめ細かい制御のための精度向上、IoTデバイスへの搭載に向けた小型化、他のセンサーとのセンサーフュージョン、耐環境性能（高温、高温環境下）の向上が求められる。

## 2 幅広い搭載アプリケーション

- 家電製品：冷蔵庫、エアコン、調理家電（電子レンジ、コーヒーメーカー）、ドライヤー
- 車載：エンジン系（水温、油温、吸気温度）、カーエアコン、電動車（主機モーター、バッテリー温度監視）
- 産業機器：温度制御全般、モーターの過熱検知、計測機器の温度センシング、ロボティクス
- 情報機器：データセンター、パソコン、スマートフォン、バッテリー機器全般
- 医療機器：体温計、画像診断装置、インキュベーター（培養機器）

## 3 当社とのシナジー「相合」

- 上記アプリケーションでの当社製品のEMS製品化による役割拡張には重要な要素（温度制御対応）
- 現時点での製品搭載例：電源製品、バッテリープロテクションモジュール、レゾルバ
- 開発製品では搭載検討中：①ロボティクス向けフレームレスモーター、②車載用温風ファン、③ドライヤー製品
- **製品としては、8本槍のセンサーの強化としてコア製品の要件を満たしている。**

## 4 サーマスタの強みと弱み

- 強み：高感度、小型軽量、応答性、低コスト、長寿命 → **強みが当社強みとマッチ**
- 弱み：特性が非線形（アナログ技術で補正対応）、温度範囲が限定的（当社製品には十分） → **弱みは最小限化**

## シナジー【2/3】 当社の販路を活用したグローバル展開

- ✓ 当社の世界の営業拠点や2,000名の営業・マーケティング担当者などの販路を活用することで、芝浦電子の既存の市場シェアの拡大に加えて、新規エリアの開拓を見込む
- ✓ 芝浦電子のNTCサーミスタと親和性のある当社の製品群において、当社のグローバルでの販売網を活用したクロスセルが期待できる



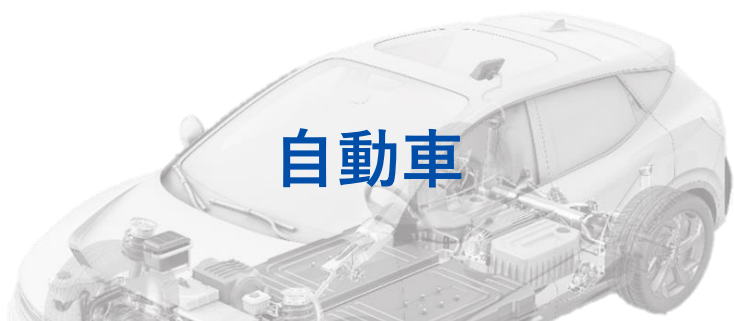
## 当社の幅広い取引ネットワークへの参画

現在、当社グループが取引している自動車OEMメーカーはグループOEMも含めて全30社に上り、また、ホームアプライアンス・高級家電の領域でも多数のメーカーと直接取引を行っている。

当社は、開発段階から顧客ニーズを直接把握しており、芝浦電子も当社グループの取引先とのネットワークでビジネスを展開することが可能になる。

MinebeaMitsumi  
Passion to Create Value through Difference

自動車



自動車OEMの  
取引は全30社

ホームアプライアンス  
高級家電



多数のメーカーと  
直接取引

更なる高付加価値化



株式会社 芝浦電子

## シナジー【3/3】オペレーションの効率化

- ✓ 両社のグローバルでの製造・営業拠点の相互活用を通じて、製造や物流コストの低減、温度センサーのニーズ増加を踏まえた部材の安定調達及び調達コストの削減を想定

**MinebeaMitsumi**  
Passion to Create Value through Difference

 株式会社 芝浦電子

- 当社の調達網を生かした共同調達
- 物流等サプライチェーンの統合を促進
- 当社の販路を活用することを通じ、芝浦電子における収益性の更なる向上
- 当社が強みとする大量生産の製造ノウハウや工場オペレーションのノウハウを活用した芝浦電子の生産効率も大きく向上



<http://www.minebeamitsumi.com/>

当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。